



2026 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 T A N A K E N 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 中 尾 安 志
(コード番号：1450 東証スタンダード)
問合せ先 取締役専務執行役員 内 田 政 美
本社統括兼管理本部長
(TEL. 03-6264-5520)

土壌汚染調査及び土壌汚染対策工事等に関する 業務提携契約締結のお知らせ

当社は、2025年12月19日開催の取締役会において、以下のとおりマックスエンジニアリング株式会社（以下「マックスエンジニアリング」）と業務提携契約を締結することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 業務提携の目的

近年、都市再生や不動産開発においては、事業の初期段階から環境リスクへの対応が求められており、特に土壌汚染対策については、汚染土壌の調査結果と対策内容の整合性、及び工事費用の見積もりの妥当性が重要な検討要素となっています。土壌汚染の状況は案件ごとに大きく異なり、調査・対策の進め方次第では、想定外の追加対応やコスト増加が生じるケースも少なくありません。このような状況を踏まえ、当社は、元請としての施工管理能力と現場対応力に加えて、汚染土壌の調査段階から対策工事までを一貫して捉えた体制の構築が不可欠であると考えてまいりました。

当社は、解体工事を通じて都市再生に寄与するとともに、持続可能な社会の実現に向け、地下関連工事等の環境改善に関わる各種工事にも積極的に取り組んでおります。

一方、マックスエンジニアリングは、土壌汚染調査から対策工事までの一連のプロセスをワンストップで提供しています。地歴調査を行うなどリスクを適切に評価する体制を整えており、専門技術及び情報収集力に裏付けられた高い問題解決力を有しています。

このたび、土壌汚染調査及び土壌汚染対策工事等につきまして、当社にとってはコストリスクの低減や受注機会の拡大が見込まれるとともに、施主である開発事業者にとっては想定されるリスクの限定化と信頼性の確保を実現した土壌汚染対策スキームの構築が期待できることから、業務提携に合意いたしました。

2. 業務提携の内容

(1) 土壌汚染調査

当社が元請として行う土壌汚染対策工事の際に、適切な土壌汚染調査とマックスエンジニアリングが提供する「コストキャップ保証」を活用し、想定されるリスクを限定します。

(2) 土壌汚染対策工事

両社の実績とノウハウを活かし、費用リスクの低減に加えて、より高度な土壌汚染対策工事を実現することで、更なる受注拡大を図ってまいります。

3. 業務提携先の概要

(1) 名 称	マックスエンジニアリング株式会社
(2) 所 在 地	東京都港区虎ノ門五丁目3番2号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 新井 規志
(4) 事 業 内 容	土壌・地下水汚染調査及びコンサルティング 土壌・地下水汚染対策工事
(5) 資 本 金	20,000千円
(6) 設 立 年 月 日	2003年9月1日

4. 日程

(1) 取締役会決議日	2025年12月19日
(2) 契 約 締 結 日	2026年1月30日

5. 今後の見通し

本業務提携による当社業績への影響は現在精査中です。業績への影響は軽微である見込みですが、今後公表すべき事実が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以上